



2021年3月期 第2四半期 決算説明会

株式会社SUBARU

代表取締役社長 CEO 中村 知美
2020年11月4日

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

1

本日はお忙しい中、株式会社SUBARU 2021年3月期 第2四半期決算説明会にご参加頂き、ありがとうございます。また、平素は当社の事業活動に対し、多大なご理解・ご支援を賜り、重ねて御礼申し上げます。

2021年3月期 第2四半期 業績

(単位:億円)

		2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	増減
連結販売台数 (千台)		503.8	363.3	-140.5
売上収益		16,057	12,184	-3,873
営業利益		948	306	-642
親会社の所有者に帰属する 当期利益		683	237	-446
為替レート	US\$	¥109	¥107	-¥2
	EURO	¥123	¥120	-¥2
	CAN\$	¥82	¥79	-¥3

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

2

はじめに、第2四半期の決算はご覧の通りの結果となりました。

詳細につきましては、後ほどCFOの岡田よりご説明いたしますが、連結販売台数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年同期比28%減の36万3千台、売上収益は前年同期比で24%減の1兆2,184億円となりました。その結果、営業利益は前年同期比642億円減少して306億円、当期利益は前年同期比446億円減少して237億円となりました。

8月の第1四半期決算で申し上げた数字は大変厳しいものでしたが、当社の主力市場である北米では、想定よりも早い回復基調が見られます。特にSUBARUの小売販売は米国・カナダともに9月・10月と2ヶ月連続で前年を超えました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、4月を中心に生産を一時停止したことにより不足気味であった現地ディーラー在庫も、徐々に回復しており、年末までには適正な水準に戻る予定です。

結果として、第2四半期累計では、営業利益、当期利益ともに黒字を確保することができました。

2021年3月期 通期計画

(単位:億円)

	2020年3月期 実績(a)	2021年3月期 前回計画(b) (8/4発表値)	2021年3月期 今回計画(c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)	
連結販売台数(千台)	1,033.9	900.0	910.6	-123.2	+10.6	
売上収益	33,441	29,000	29,500	-3,941	+500	
営業利益	2,103	800	1,100	-1,003	+300	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,526	600	800	-726	+200	
為替レート	US\$	¥109	¥105	¥106	-¥3	+¥1
	EURO	¥121	¥120	¥120	-¥1	+¥0
	CAN\$	¥82	¥80	¥79	-¥3	-¥1

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

3

続いて通期計画です。

第2四半期(3ヵ月)の実績や北米を中心とした販売が比較的順調に回復基調にあることを踏まえ、第1四半期決算時の計画に比べ、売上収益は500億円増の2兆9,500億円、営業利益300億円増の1,100億円に上方修正しました。

一方、足元では、米国の新型コロナウイルス新規感染者数が増加傾向にあります。実際、直近1週間の平均で1日8万人以上と、過去最高水準で推移しています。例えば当社の米国販売子会社であるSOA(SUBARU OF AMERICA)があるニュージャージー州においても、州をまたぐ移動が制限されたり、周辺地域での飲食店営業が制限されているなど、まだまだ経済活動に対する制約は大きく、新車販売の本格回復に向けた状況は現時点ではやはり不透明であると言わざるを得ません。加えて欧州の状況も皆さまご承知の通りかと思えます。

このことは、今期の業績を見通す上でまだまだリスクを孕んでいると考えております。

引き続き、日本のみならず、世界各国の生産・販売拠点において感染予防対策をしっかり行い、お客様、従業員とその家族、お取引先など関係者の皆様の安全を最優先にしつつ、通期計画の達成に向けて、全社一丸となって、取り組んで参ります。

これからもご支援のほど、よろしくお願い致します。



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみで全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

続いて、CFOの岡田より、決算の詳細についてご説明申し上げます。



2021年3月期 第2四半期 決算説明会

株式会社SUBARU

取締役専務執行役員 CFO 岡田 稔明
2020年11月4日

| 2021年3月期 第2四半期累計 実績

第2四半期累計実績 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	増減
登録車	55.1	32.7	-22.5
軽自動車	12.8	9.9	-3.0
国内合計	68.0	42.5	-25.5
米国	336.3	260.9	-75.5
カナダ	27.7	23.3	-4.4
ロシア	4.6	1.2	-3.5
欧州	12.3	5.7	-6.7
豪州	24.6	10.5	-14.1
中国	10.8	13.1	+2.3
その他	19.5	6.2	-13.3
海外合計	435.8	320.8	-115.0
合計	503.8	363.3	-140.5

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

7

それでは、第2四半期累計実績からご説明いたします。

初めに、連結販売台数についてです。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きく、
グローバル合計で、14万5百台の減となる36万3千3百台となりました。

当社の重点市場である北米市場は、想定よりも早く回復しつつありますが、
第1四半期に受けた影響が非常に大きく、また豪州や欧州をはじめ、
その他市場においても、多くの市場で回復の兆しは見え始めているものの、
上半期を通して販売への影響が大きかったことから、
海外市場は、前年同期比 11万5千台の減となる32万8百台となりました。

国内市場は、コロナ影響に加え、商品の切り替え時期であったこともあり、
前年同期比 2万5千5百台の減となる4万2千5百台となりました。

第2四半期累計実績 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	増減
連結完成車 販売台数 合計	503.8	363.3	-140.5

(千台)

	2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	増減
米国生産	172.2	133.1	-39.1
国内生産	325.8	220.9	-104.9
合計	497.9	353.9	-144.0

* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

8

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、米国生産拠点のSIAでは3月下旬から、国内の群馬製作所では4月上旬から生産を一時停止しました。

5月上旬に操業を再開しましたが、サプライチェーン及び販売活動への影響が続いたことから、SIAでは5月末まで、国内では6月下旬まで生産量の調整を行いました。

第2四半期期間は、北米市場の在庫水準も適正レベルに戻すべく、操業はほぼ正常に戻してきましたが、第1四半期に実施した操業停止および生産調整の影響が大きく、生産台数合計は、前年同期比で14万4千台の減となる35万3千9百台となりました。

第2四半期累計実績 連結業績

(億円)

		2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	増減
売上収益		16,057	12,184	-3,873
国内		2,975	2,102	-873
海外		13,082	10,082	-3,000
営業利益		948	306	-642
税引前利益		931	361	-570
親会社の所有者に帰属する 当期利益		683	237	-446
為替レート	US\$	¥109	¥107	-¥2
	EURO	¥123	¥120	-¥2
	CAN\$	¥82	¥79	-¥3

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

9

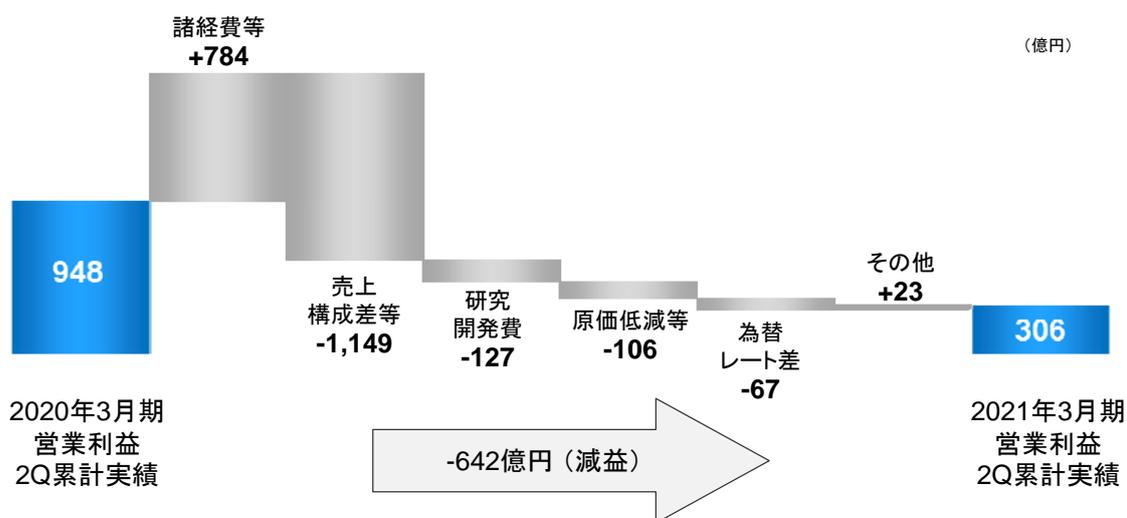
新型コロナウイルスの影響により、前年に対し大幅な減益となりましたが、第2四半期累計で黒字を確保することが出来ました。

売上収益は、自動車販売台数の減少などによる売上構成差等の悪化 -3,444億円を主因とし、前年同期比3,873億円の減収となる1兆2,184億円となりました。

営業利益につきましても、自動車販売台数の減少などによる売上構成差等の悪化を主因とし、前年同期比642億円の減益となる 306億円となりました。

また、税引前利益は、570億円の減益となる 361億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は、446億円の減益となる 237億円となりました。

第2四半期累計実績 営業利益増減要因



諸経費等 内訳 784				売上構成差 -1,149	原価低減等 -106		為替影響 -67				
製造固定費	-6	販管費	192	保証修理費	598	SUBARU	-32	SIA	-74	US \$	-86
SUBARU	5	SIA	-11	SUBARU	76	原価低減	14	原価低減	1	EURO	-2
外製型費	-2	外製型費	-22	国内ディーラー	39	原材料・市況等	-46	原材料・市況等	-75	CAN \$	-12
固定加工費	7	固定加工費	11	SOA (*1)	59					中国元	-1
		SCI (*2)	11	その他	7					仕入為替調整	30
										未実現利益分	4

*1 SOA: Subaru of America Inc.
*2 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

10

市場措置費用を含む保証修理費の減少や
販売奨励金の減少、広告宣伝費等の販管費の削減等が増益要因となったものの、
国内および海外向け新車販売の減少による減益影響が大きく、
前年同期に対し、642億円の減益となりました。

尚、米国の販売奨励金については、
前年同期の1,550ドルから150ドル減となる台あたり1,400ドルとなり、
奨励金総額として190億円の削減となりました。

キャッシュフロー / 手元資金状況

(億円)

	2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績
営業活動によるCF	792	684
投資活動によるCF	226	-862
フリーCF	1,018	-178
財務活動によるCF	-470	581

	2020年3月末	2020年9月末	増減
現金及び現金同等物 期末残高	8,590	8,881	+292
有利子負債 期末残高 (*1)	2,392	3,353	+961
ネットキャッシュ	6,198	5,528	-670

* リース負債は上記の実績に含んでおりません。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

11

コロナ影響等により、フリーキャッシュフローは178億円の減少となりました。

資金調達により現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に対し292億円増の8,881億円。
9月末の有利子負債残高は、前期末に対し961億円増の3,353億円となり、
ネットキャッシュ残高は5,528億円となりました。

設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	増減
設備投資 (*1)	732	334	-398
減価償却費 (*1)	457	471	+14
研究開発支出 (*2)	548	506	-42

*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績に含んでおりません。

*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載。

尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致)

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

12

設備投資などの実績については、ご覧の通りです。

設備投資の発生が前年に比べて少なくなっていますが、新型コロナウイルス感染症の影響に備えて計画を統制したことや発生時期の偏りによるものであり、後程ご説明いたしますが、年度計画については変更ありません。

2021年3月期 見通し

通期計画 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 計画	増減
登録車	101.9	95.3	-6.6
軽自動車	23.9	22.1	-1.8
国内合計	125.8	117.4	-8.4
米国	701.6	635.7	-65.9
カナダ	60.4	51.4	-9.0
ロシア	8.7	4.7	-3.9
欧州	37.0	18.4	-18.6
豪州	43.1	31.5	-11.6
中国	20.6	28.5	+7.9
その他	36.7	23.1	-13.6
海外合計	908.0	793.2	-114.8
合計	1,033.9	910.6	-123.2

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

14

それでは次に、2021年3月期通期計画についてご説明いたします。

未だコロナ感染拡大が収束する兆しが見えず、下期についても、依然として不確実な要素が残る環境にあります。現時点での情報を基に算定しました。

まず連結販売台数についてです。

主力の北米市場では予想以上に需要が回復してきており、下期は前年並みの台数を見込んでいるものの、上期のコロナによる影響が大きく、グローバル合計で、前年同期に対し、12万3千2百台の減となる91万6百台を計画しています。

国内については、コロナ影響に加え、上期は主力商品のモデル切り替え時期が重なり、大きくマイナスとなりましたが、10月15日に発表しました新型LEVORGをフックに販売基調を戻すことで、前年同期で8千4百台の減となる、11万7千4百台を計画しています。

通期計画 連結完成車販売台数・生産台数

(千台)

	2020年3月期 実績 (a)	2021年3月期 前回計画 (b) (8/4発表値)	2021年3月期 今回計画 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
連結完成車 販売台数 合計	1,033.9	900.0	910.6	-123.2	+10.6

(千台)

	2020年3月期 実績 (a)	2021年3月期 前回計画 (b) (8/4発表値)	2021年3月期 今回計画 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
米国生産	367.3	-	325.2	-42.1	-
国内生産	663.6	-	556.1	-107.5	-
合計	1,030.9	880.0	881.3	-150.0	+1.3

* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

15

次に生産計画についてです。

生産台数は、前年に対し15万台の減、前回計画に対し1千3百台増となる88万1千3百台を計画しています。年内に北米市場の在庫水準は適正レベルに戻る予定であり、今後は各市場のコロナ感染状況と販売・在庫状況を注視し、生産を進めていきたいと考えています。

通期計画 連結業績

(億円)

	2020年3月期 実績 (a)	2021年3月期 前回計画 (b) (8/4発表値)	2021年3月期 今回計画 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)	
売上収益	33,441	29,000	29,500	-3,941	+500	
国内	5,727	-	5,397	-330	-	
海外	27,714	-	24,103	-3,611	-	
営業利益	2,103	800	1,100	-1,003	+300	
税引前利益	2,077	870	1,170	-907	+300	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	1,526	600	800	-726	+200	
為替レート	US\$	¥109	¥105	¥106	-¥3	+¥1
	EURO	¥121	¥120	¥120	-¥1	+¥0
	CAN\$	¥82	¥80	¥79	-¥3	-¥1

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

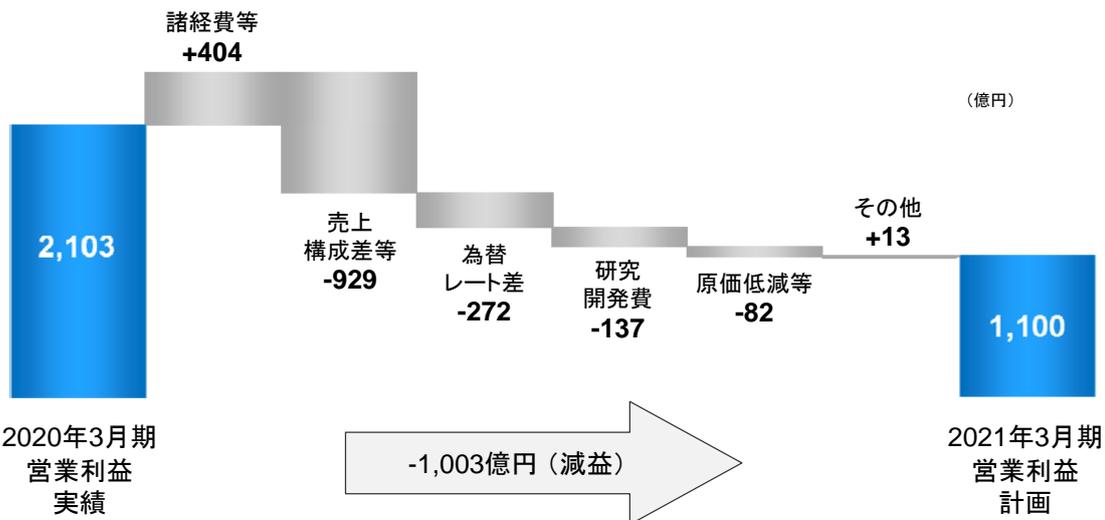
16

新型コロナウイルスの影響が大きく、前年に対し減益となる見通しであることは変わりませんが、主力の北米での販売回復が想定より早いことなど、最近の業績動向を踏まえ、前回(8月4日)公表しました計画を上方修正させていただきます。

売上収益は、8月4日に発表しました前回計画に対し、500億円増となる2兆9千5百億円。営業利益は、300億円増の1,100億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は、200億円増となる800億円を計画します。

現時点の状況をベースにした計画であり、コロナ感染症の更なる感染拡大のリスクは考慮しておりません。

前年実績対比
通期計画 営業利益増減要因



諸経費等 内訳 404			売上構成差等 -929	為替影響 -272	原価低減等 -82								
製造固定費	-104	販管費	109	保証修理費	399	新車国内	-109	US \$	-296	SUBARU	-3	SIA	-79
SUBARU	-83	SIA	-21	SUBARU	73	新車海外	-917	EURO	-2	原価低減	46	原価低減	5
外製型費	-19	外製型費	-7	国内ディーラー	27	販売奨励金	80	CAN \$	-21	原材料・市況等	-49	原材料・市況等	-84
固定加工費	-64	固定加工費	-14	SOA (*1)	74	その他	17	中国元	-1				
		SCI (*2)	11	仕入為替調整	32			未実現利益分	16				
		その他	-76										

*1 SOA: Subaru of America Inc.
 *2 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

17

次に、前年実績対比の営業利益増減要因です。

増益要因は、市場措置費用を含む保証修理費の減少や販管費の減少により、諸経費等で404億円の改善の見通しです。

減益要因は、売上構成差等の悪化と為替レート差ならびに研究開発費の増加を見通しています。

新型コロナウイルス感染症の影響により新車販売が減少したことに伴い、販売奨励金は減少するものの、売上構成差等が大幅に悪化する見通しです。

為替レート差は、USドル約3円、カナダドル約1円、ユーロ約3円の円高を見込み、272億円の悪化。

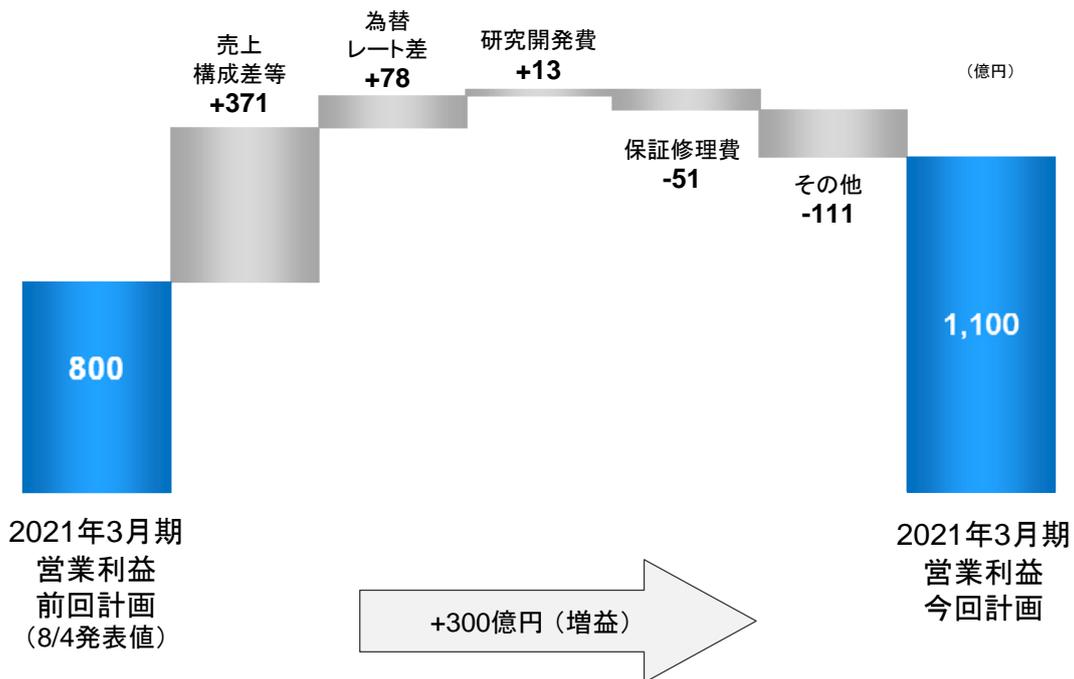
研究開発費の増加で137億円の悪化となる見通しです。前年に対し資産化計上する研究開発支出の減少と過去に計上した資産の償却額の増加によるものです。

尚、米国の販売奨励金については、台あたり1,650ドルを計画しています。前年同期の1,600ドルから50ドル増となりますが、販売計画台数の減少に伴い、奨励金総額として96億円の削減となる見通しです。

尚、保証修理費に含まれる市場措置費用についての考え方に変更はなく、通常の年間売上収益に対し1.5%相当額を織り込んでいます。

前回計画(2020/8/4 発表値)対比

通期計画 営業利益増減要因



<https://www.subaru.co.jp/ir/>

18

次に、前回計画値からの営業利益増減要因です。

売上構成差の改善と為替レートによる影響を主因とし、300億円の増益となる予定です。

設備投資・減価償却費・研究開発支出

(億円)

	2020年3月期 実績 (a)	2021年3月期 前回計画 (b) (8/4発表値)	2021年3月期 今回計画 (c)	増減 (c)-(a)	増減 (c)-(b)
設備投資 (*1)	1,260	1,000	1,000	-260	±0
減価償却費 (*1)	961	1,000	1,000	+39	±0
研究開発支出 (*2)	1,187	1,000	1,000	-187	±0

*1 リース取引および無形資産に係る設備投資、減価償却費は上記の実績・見通しに含んでおりません。

*2 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額を記載しております。
尚、IFRSでは当該支出のうち資産性の認められる一部の支出を無形資産として計上し、見積耐用年数に基づき償却するため、連結損益計算書上の「研究開発費」と異なります。(日本基準における連結損益計算書上の研究開発費と一致します)

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

19

最後に、設備投資、減価償却費、研究開発支出の通期計画です。

前回の計画値に対し、変更はありません。

引き続き、設備投資ならびに研究開発支出に関しては、
必要な投資・研究開発活動を継続して進めていく一方で、
コロナ禍での経営環境を踏まえた不要不急案件の精査ならびに抑制を行い、
効率化を図りながら取り組んでいく考えです。

次ページ以降は、セグメント情報等の参考情報となります。

以上で2021年3月期 第2四半期決算の説明を終わります。ありがとうございました。

ご参考 (1)

- ・セグメント情報(事業別 / 所在地別)
- ・海外売上収益
- ・連結財政状態計算書
- ・単独販売台数
- ・米国子会社業績
- ・第2四半期(3ヵ月)連結業績実績
- ・下期 連結業績計画
- ・生産台数 / 小売台数 推移

第2四半期累計実績 事業セグメント別業績

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	増減	2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	増減
自動車	15,303	11,688	-3,615	874	316	-558
航空宇宙	710	472	-238	51	-30	-81
その他	44	24	-20	24	20	-4
消去・全社				0	1	+1
合計	16,057	12,184	-3,873	948	306	-642

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

21

第2四半期累計実績 所在地別セグメント業績

(億円)

	売上収益			営業利益		
	2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	増減	2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	増減
日本	4,545	2,788	-1,757	439	-192	-630
北米	10,833	8,791	-2,041	479	323	-156
その他	678	605	-74	9	19	+10
消去・全社				21	155	+134
合計	16,057	12,184	-3,873	948	306	-642

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

22

第2四半期累計実績 連結海外売上収益

(億円)

	2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	増減
北米	11,350	9,088	-2,261
欧州	421	209	-212
アジア	558	470	-88
その他	753	314	-439
合計	13,082	10,082	-3,000

連結財政状態計算書

(億円)

	2020年3月末	2020年9月末	増減
資産合計	32,939	32,880	-60
流動資産	19,788	19,852	+65
非流動資産	13,151	13,027	-124
負債合計	15,738	15,768	+30
有利子負債	2,392	3,353	+961
資本合計	17,201	17,112	-89
利益剰余金	13,972	13,995	+23
親会社の所有者に帰属する持分	17,129	17,032	-97
親会社の所有者に帰属する持分比率	52.0%	51.8%	-
D/Eレシオ	0.14	0.20	-

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

24

第2四半期累計実績 単独販売台数

(千台)

	2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	増減
国内生産	325.8	220.9	-104.9
国内売上	68.0	40.9	-27.1
登録車	53.9	30.7	-23.2
軽自動車	14.1	10.2	-3.9
輸出台数	266.1	188.7	-77.4
海外生産用部品	178.3	108.7	-69.6
単独売上合計	512.4	338.3	-174.1

* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む。

第2四半期累計実績 米国子会社業績

(Million US\$)

SOA	2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	増減
売上高	9,391	8,079	-1,312
営業利益	382	424	+42
当期純利益	304	377	+73
小売販売台数(千台)	367.5	305.1	-62.4

SIA	2020年3月期 2Q累計実績	2021年3月期 2Q累計実績	増減
売上高	4,148	3,349	-799
営業利益	50	-117	-167
当期純利益	48	-92	-140
生産台数(千台)	172.2	133.1	-39.1

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

26

第2四半期(3ヵ月)実績 連結完成車販売台数

(千台)

	2020年3月期 2Q実績	2021年3月期 2Q実績	増減
登録車	27.7	18.4	-9.3
軽自動車	7.0	5.6	-1.4
国内合計	34.7	24.0	-10.7
米国	157.0	169.8	+12.8
カナダ	12.1	17.0	+4.9
ロシア	2.4	1.0	-1.5
欧州	6.4	2.5	-4.0
豪州	12.9	5.6	-7.3
中国	5.0	7.1	+2.1
その他	10.6	3.3	-7.3
海外合計	206.6	206.3	-0.3
合計	241.3	230.3	-11.0

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

27

第2四半期(3ヵ月)実績 連結業績

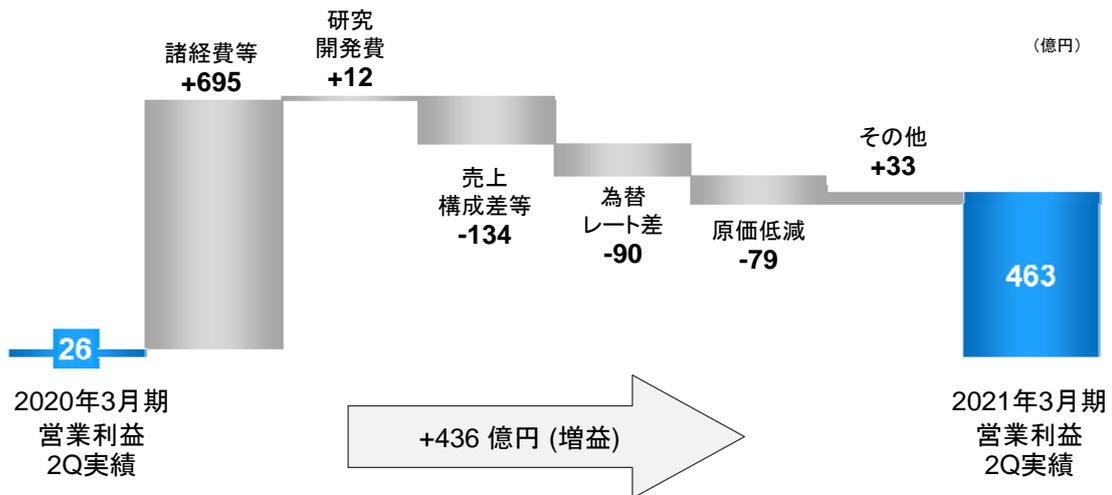
(億円)

		2020年3月期 2Q 実績	2021年3月期 2Q 実績	増減
売上収益		7,723	7,614	-109
国内		1,553	1,156	-397
海外		6,170	6,458	+288
営業利益		26	463	+436
税引前利益		38	468	+431
親会社の所有者に帰属する 当期利益		18	314	+296
為替レート	US\$	¥108	¥107	-¥1
	EURO	¥120	¥123	+¥2
	CAN\$	¥81	¥80	-¥2

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

28

第2四半期(3ヵ月)実績 営業利益増減要因



諸経費等 内訳 695				売上構成差 -134	為替影響 -90	原価低減等 -79					
製造固定費	-26	販管費	61	新車国内	-115	US \$	-60	SUBARU	-40	SIA	-39
SUBARU	-28	SUBARU	33	新車海外	366	EURO	1	原価低減	4	原価低減	-2
外製型費	-3	国内ディーラー	16	販売奨励金	-16	CAN \$	-6	原材料・市況等	-44	原材料・市況等	-37
固定加工費	-25	SOA (*1)	19	その他	-369	中国元	-				
		SCI (*2)	2			仕入為替調整	3				
		その他	-9			未実現利益分	-28				

*1 SOA: Subaru of America Inc.
*2 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

29

下期計画 連結完成車販売台数(市場別)

(千台)

	2020年3月期 下期実績	2021年3月期 下期計画	増減
登録車	46.8	62.6	+15.8
軽自動車	11.0	12.2	+1.2
国内合計	57.8	74.8	+17.0
米国	365.3	374.8	+9.5
カナダ	32.7	28.1	-4.6
ロシア	4.0	3.5	-0.5
欧州	24.6	12.7	-11.9
豪州	18.5	21.0	+2.5
中国	9.8	15.5	+5.6
その他	17.2	16.9	-0.4
海外合計	472.2	472.4	+0.2
合計	530.0	547.3	+17.2

下期計画 連結業績

(億円)

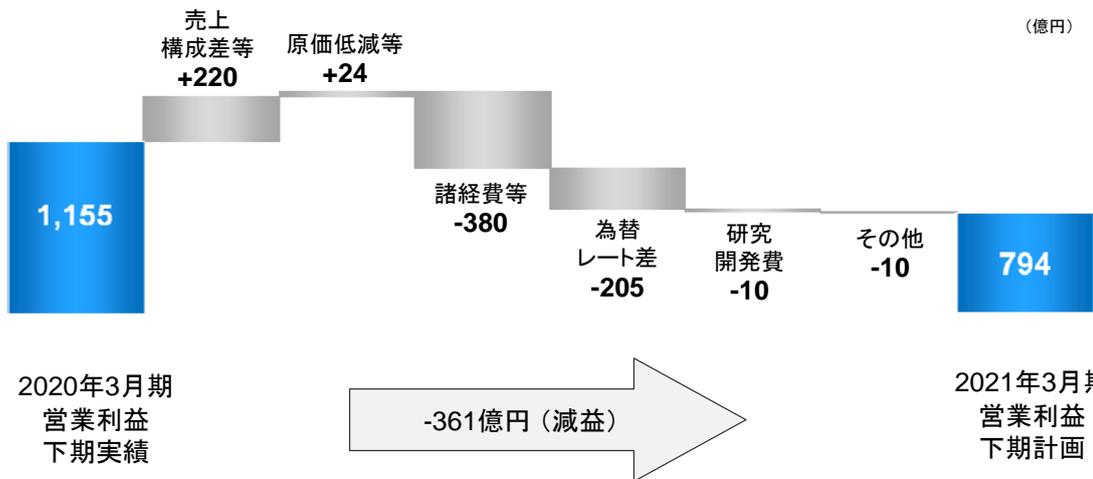
		2020年3月期 下期実績	2021年3月期 下期計画	増減
売上収益		17,384	17,316	-68
国内		2,752	3,294	+543
海外		14,633	14,022	-611
営業利益		1,155	794	-361
税引前利益		1,146	809	-337
親会社の所有者に帰属する 当期利益		843	563	-280
為替レート	US\$	¥109	¥105	-¥4
	EURO	¥120	¥120	-¥0
	CAN\$	¥82	¥80	-¥2

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

31

前年実績対比

下期計画 営業利益増減要因



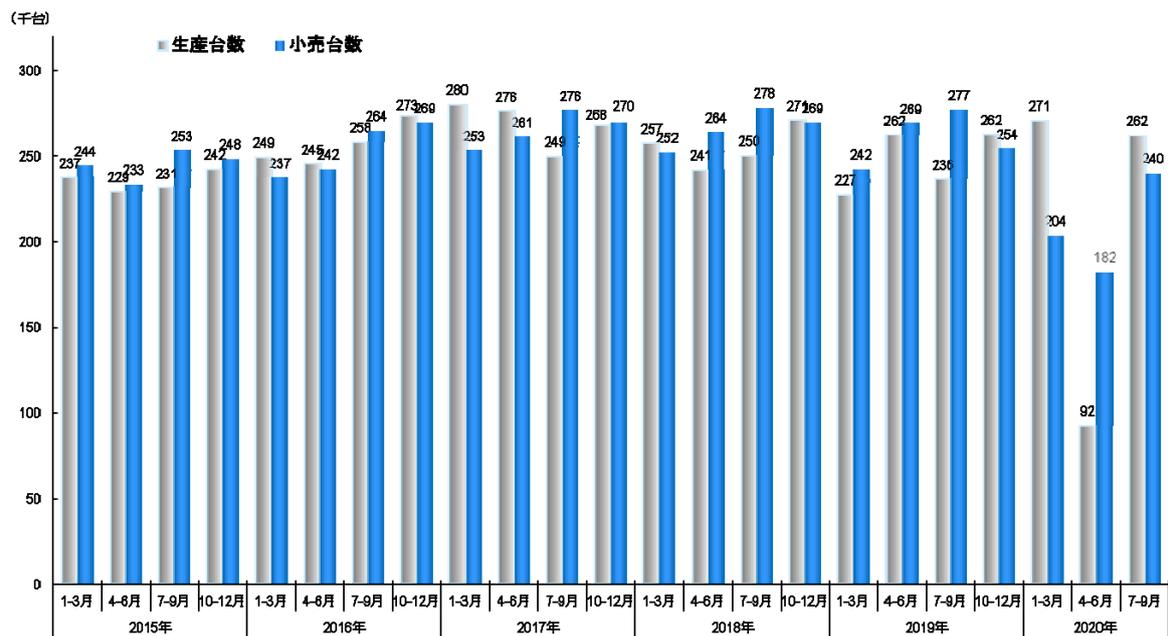
売上構成差等 220		原価低減等 24		諸経費等 内訳 -380			為替影響 -205						
新車国内	131	SUBARU	29	SIA	-5	製造固定費	-98	販管費	-83	保証修理費	-199	US\$	-210
新車海外	12	原価低減	32	原価低減	4	SUBARU	-88	SIA	-10	SUBARU	-3	EURO	0
販売奨励金	-114	原材料・市況等	-3	原材料・市況等	-9	外製型費	-17	外製型費	15	国内ディーラー	-12	CAN\$	-9
その他	191					固定加工費	-71	固定加工費	-25	SOA(*1)	15	中国元	0
										SCI(*2)	0	仕入為替調整	2
										その他	-83	未実現利益分	12

*1 SOA: Subaru of America Inc.
*2 SCI: Subaru Canada Inc.

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

32

生産台数 / 小売台数 推移



* 生産台数にはトヨタ向け86の台数を含む。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>

33



本資料に記載されている計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報、予測に基づいた仮定、および判断であり、様々なリスクや不確実性を含みます。将来における当社の実際の業績は、当社を取り巻く経済情勢、需要や為替レートの変動などにより、これらと異なる結果となる場合がございます。従いまして、この見通しのみで全面的に依拠されることは避けて頂きますようお願い致します。

<https://www.subaru.co.jp/ir/>